

よりよい生き方を追求する態度を育てる道徳指導の工夫

～職場体験活動をもとに、自己理解・自己受容を深めるロールレタリングの手法を取り入れて～

道徳班 長谷川 尚生(中学校教諭)

研究の概要

道徳の時間において、理想や希望の実現を目指して、努力していこうとする態度を育てることを目指したものである。具体的には、職場体験活動先の方々からいただいた手紙をもとに、夢や理想をもって生きることの大切さについて話し合い、今の自分と未来の自分とが交流し合うロールレタリングの手法を取り入れ、自己理解・自己受容を深める活動を行った。

実践概要

《現状と課題》 中学2年生は、自分の在り方や生き方についての関心をもつようになるが、集団の中で、自分を他者と比較することで、自信をなくしたり、自分のよさを伸ばすことに消極的になったりする傾向がある。

総合的な学習の時間

職場体験活動

望ましい勤労観、職業観を育むとともに、自己の個性や適性を把握し自己理解を深め、自己の可能性を見い出したり、夢や希望を実現しようとする意欲的態度などを育む。

夢プラン(将来設計図)の作成

職場体験活動後、将来の夢や理想の実現のため、中学高校卒業、20歳、30歳の節目で、何をすべきか、何が必要かを想像し、計画を立てる。

補充して気付かせるために

道徳の時間 1

1-(4) 理想の実現

職場体験活動を通して自分の将来や生き方について考えたことをもとに、理想を求め、明るく生きることで、人生を豊かにしようとする実践的意欲を培う。

資料名『風に立つライオン』
中心発問「主人公が「辛いけど幸せ」と思えるのはなぜか」

深化を促すために

道徳の時間 2

1-(5) 向上心・個性の伸長

充実した生き方についての自覚を深め、自分のよさや個性を見だし、さらに伸ばしていこうとする態度を育てる。

資料名『天女、再び宇宙へ』
中心発問「向井さんが宇宙飛行士になれたのは、どのように考えたからか」

ロールレタリング1『拝啓 30歳の君へ① ~今の自分から、未来の自分へ~』

夢プランに描かれた未来の自分に手紙を書く。

自己理解 自分自身を深く見つけ、今の自分の気持ちや状況を理解する

中学2年生の14歳から、道徳科の授業がやばいから、部活の1人1人に目標として頑張りたい。もちろん、大気と優勝杯は一つの目標です。身体部に入りたい、早く自覚したい。

自分自身に宛てた手紙なら、今の自分の気持ちや状況を素直にさらけ出せる

職場体験先の方々を書いた「中学生の頃の自分に宛てた手紙」をもとにした話し合い



「手紙に書かれた内容も授業で扱った主人公の思いも同じだなあ。」
「どちらも前向きだし、いろいろな経験をバネにして活躍しているね。」

「夢や理想を叶えるのは簡単でないからこそ、挑戦する価値がある。」
「夢や理想をもって生きていくから、充実した日々が過ごせるのだな。」
「自分や仕事に誇りをもっていてすごい。私も将来の自分に誇りをもってようになりたい。」

他者理解・価値理解 身近な大人の経験から、夢や理想をもって生きていくことの大切さを理解する

ロールレタリング2『拝啓 中2の君へ ~未来の自分から、今の自分へ~』

未来の自分になりきって、今の自分に返事を書く。

自己理解 未来の自分を想像し、将来どのように生きていきたいのか考え、自覚する

私は、今の生活が楽な生活に思っている。中学校の頃の私は、勉強が苦手で、友達に話しかけられなかった。今は、勉強が楽しく、友達と話しかけられるようになった。将来は、自分の好きなことをして生きていきたい。今の自分から、未来の自分に誇りを持って生きていきたい。

将来の仕事だけではなく、自分がどのような生き方をしていきたいかを具体的に考えられる

ロールレタリング3『拝啓 30歳の君へ② ~今の自分から、未来の自分へ~』

未来の自分に返事を書く。

自己受容 夢や理想に近づくために、自己の個性をどう生かしていくべきか考える

自分の長所は、勉強が得意なこと。最近では、部活の練習でも、自分の長所を活かして頑張りたい。勉強が得意だから、将来は、自分の好きなことをして生きていきたい。今の自分から、未来の自分に誇りを持って生きていきたい。

自分のよさや課題を自覚し、受け止めたうえで、理想の自分に近づくためにどうしていくべきかを考えられる

よりよい生き方を追求する生徒

自分の伸ばすべき個性は伸ばし、改めるべき課題は改め、理想や希望の実現を目指して、努力していこうとする態度を身に付けている

成果と課題

- 職場体験で考え始めた自分の将来や生き方について、道徳の時間に考えるだけでなく、今と未来の自分で手紙のやりとりを繰り返すロールレタリングを通して、自分自身と向き合うことで、夢や理想をより深く自覚し、自己の個性をどう生かしていくべきなのかを考えることができた。
- 職場体験先の方々を書いた手紙から身近に見てきた大人の生き方や考えに触れ、夢や理想をもって生きていくことの大切さについて話し合うことで、どのような意識で生活していくことが豊かな人生につながるか考え、よりよい生き方を追求していこうとする態度を育むことができた。
- 未来の自分の年齢設定を30歳としたロールレタリングでは、将来の夢や理想とする未来の自分をイメージしづらい生徒もいた。あまり遠い未来ではなく、中学卒業後の自分を設定とするなど、未来の自分の想定時期を生徒の実態に合わせて工夫する必要がある。